

平成 30 年度 栗東市バス対策地域協議会(第 1 回)

議 事 録

[開催日時] 平成 30 年 6 月 4 日(月) 10:00～

[開催場所] 栗東市危機管理センター2階 防災研修室

[出席者] 清水会長、坂口副会長、道久委員、芝委員、大崎委員、平田委員、
永井委員（代理者 杉江氏出席）、大西委員（代理者 中島氏出席）、
伊勢村委員、北村委員、山田委員、野村委員、坂田委員
野村市長、中濱建設部長（委員）、事務局（建設部土木交通課）

[欠席者] 相井委員、隠岐委員、濱田委員

[会議概要]

1. 開 会
2. 挨拶
・野村市長挨拶
3. 委員紹介
4. 会長、副会長選出
・清水会長挨拶
5. 協議事項
(1) 地域内フィーダー系統確保維持計画について
(2) 「大宝循環線」の延伸について
6. その他 報告事項
7. 閉 会
・坂口副会長挨拶

[議事内容]

1. 開 会
2. 挨拶
3. 委員紹介
4. 会長、副会長の選出
5. 協議事項
 - (1) 地域内フィーダー系統確保維持計画について
 - 事務局より内容説明

| |
|-------------|
| 主な意見、質疑応答など |
|-------------|

- （委員より）事業目標に収支率を示しているが、宅屋線の乗車人員が増えているにも関わらず収支率の改善が見られていない状況である。人手不足や燃料費の上昇の中、収支率改善のために、無理な運営努力してもバス運転手のなり手が居なくなり、バス事業自体に支障が出てくる。そのような情勢の中で、今までの収支率の追いかけによる事業目標の設定を変えていくべきではないか。
 - （委員より）収支率の追いかけも良いが、利用者数や満足度を事業目標にしても良いのではないか。
 - （委員より）料金は満足度になるのではないか。ただ、一人当たり欠損が多いのであれば料金を上げることも検討する必要がある。もし、満足度を指標とするのであれば、料金上昇と満足度が合致できる市民合意の接点を十分検討して欲しい。
 - （委員より）他業種に比べて低待遇の民間バス事業者の人手不足の苦境を察して欲しい。
 - （事務局より）今回は収支率での事業目標とさせていただきたいが、今後、満足度や利用者数を事業目標としていくことを検討していきたい。

☆地域内フィーダー系統確保維持計画について・・・承認

(2) 「大宝循環線」の延伸について

○事務局より内容説明

主な意見、質疑応答など

- （委員より）運賃はいくらになるのか。
 - （事務局より）現況の200円を予定している。
- （委員より）費用負担はどうなるのか。
 - （事務局より）各市の距離で按分するかたちとなる。
- （委員より）免許返納者への対応はどうなっているのか。また、片道を利用される方は帰りも利用されると思われるが対応はどうなっているのか。
 - （事務局より）免許返納者の市民への対応について、現在、栗東市独自の施策は無い
ため、今後検討していきたい。なお、大宝循環線については、往復割引対応路
線であることから、帰りは半額となる。
 - （委員より）往復割引があることを周知した方が良い。
- （委員より）駅ターミナルにおけるバスが使用できる枠の確保をお願いしたい。栗東駅
前については現在キャパシティに余裕があるが、草津駅西口や守山駅西口は厳しいも
のがある。駅に送迎に来る車が増えている中で、駅ターミナルでバスが足止め状態に
なると、ただでさえ混雑している道路を利用する中、時間通りの運行が厳しくなる。
バスが時間通りの運行が出来ないと利用者離れに繋がってしまう。
 - （委員より）駅ターミナルの改善をされる場合は、バスが使用する枠、タクシーが
使用する枠を十分確保できるよう意識付けして欲しい。
- （委員より）需要の掘りおこしという点から考えると、草津駅でのまめバスや守山駅で
の民間バスとの乗継利用を促していける乗継割引等の実施はどうでしょうか。
 - （事務局より）乗り継ぎのことは議題にあがっており、協議の中での検討課題とし
たい。

☆「大宝循環線」の延伸について・・・承認

6. その他 報告事項

- 年2回の動態調査の実施について
- 時刻表の作成について
- 「市役所前」バス停の上屋設置について
- 市民アンケートについて

| |
|-------------|
| 主な意見、質疑応答など |
|-------------|

- （委員より）上屋の設置は「市役所前」バス停の1箇所だけか。
→（事務局より）現在のところ、乗継場所にもなっている「市役所前」バス停について、市民からの意見もあり計画している。

7. 閉会

以上